

インフラ投資の拡大による 経済効果と影響

米国大統領経済諮問委員会 (Council of Economic Advisers)
2018年3月



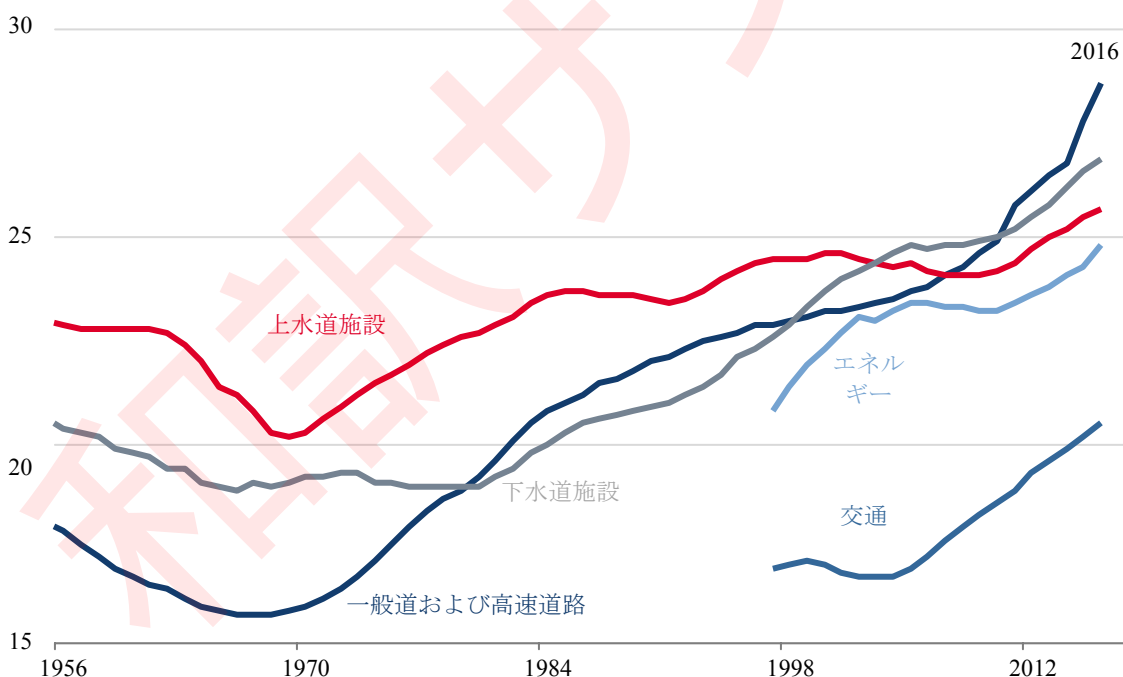
(抜粋の翻訳)

はじめに

米国のインフラストラクチャーは、再整備を必要としています。米国土木学会（American Society of Civil Engineers）は、2017年に発表した最新の詳細報告書の中で、米国全体に「D+」という評価を与えました。この成績は以前とほとんど変わっていません。さらに同報告書によると、米国の多くのセクターのインフラ資産を修繕・補修して望ましい状態にするため、2016年から2025年までに、4.6兆ドルの投資が必要になると推定されます。対象となるセクターは、陸運、航空、水道施設・水資源管理、エネルギーを含みます。インフラが同10年間に必要とする資金調達のうち、約2.1兆ドルが不足すると同学会は推定していますが、現政権が提案する最新のインフラ計画は、この不足を大幅に埋めるものです。米国のインフラは、投資と維持管理を継続しなければ、老朽化が進むことにより（図1）、整備水準とキャパシティが劣化・低下し、米国の生産への寄与が低下の一途をたどることになります。

図1．公共インフラの平均経過年数（1956年～2016年）

（経過年数）



出所：アメリカ合衆国経済分析局（Bureau of Economic Analysis）

米国のインフラ（道路、橋、運河などの水路、エネルギー施設、通信ネットワーク等の公共資産）は、国内外で私たちの経済活動、貿易、商業を支えています。しかしながら、ここ数十年の間、インフラ・サービスへの需要が増大し続ける一方、新たな供給の伸びや維持がそれに追いついていない状況です。

（省略）

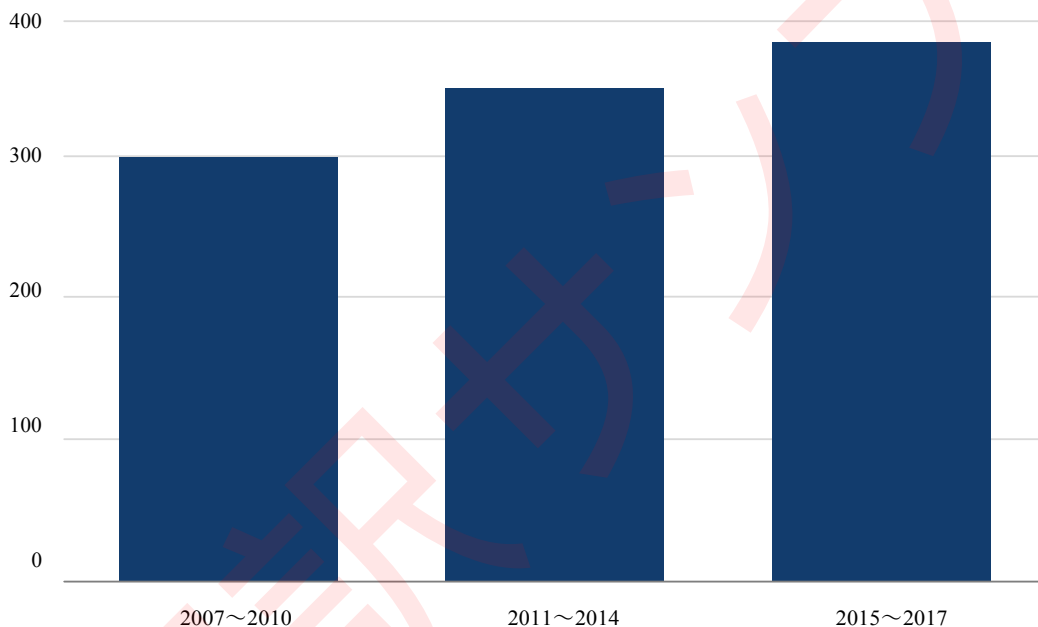
超過需要とサービスの質の問題は、交通セクターに限られたことではありません。米国環境保護庁（EPA）によれば、上下水道セクターにおいて、向こう20年間にインフラの更新や交換を行なうため、6,550億ドルを要すると推定されます（EPA 2016）。下水の収集・処理施設に2,710億ドル（EPA 2012）、上水道に3,840億ドル（EPA 2013）を投資することにより、水道本管の破裂によって水を損失したり、汚水が近辺の上水道に流れ込むリスクが減り、水質が全般的に改善すると推定されます。最近の研究（Allaire, Wu, and Lall 2018）によれば、公共の水道システムの9%（約2,100万人に水を供給）は、2015年に健康の観点による水質基準に違反しており、違反の事例は都市よりも地方に多いことが示されます。

（省略）

エネルギー分野においても、プロジェクトに関し、許可や環境検査についての懸念や遅延が発生する可能性が顕著である事例が数多くみられます。天然ガスのパイプラインを建設しようとする企業は、米国連邦エネルギー規制委員会（Federal Energy Regulatory Commission）に許可を申請しなければなりません。申請のデータをみると、申請が許可されるまでの期間がこのところ長くなっています。申請が許可されるまでの平均期間は、2007年～2010年では299日、2011年～2014年では348日と長くなり、2015年～2017年では、さらに380日にまで伸びました。（図8）

図8. パイプラインの許可が下りるまでの期間—最初に申請を出した期間別（2007年～2017年）

（申請日から許可までの平均日数）



出所：米国連邦エネルギー規制委員会—パイプラインの許可数（CEAによる計算）